

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 130035

在宅看護方法論 Home Care Nursing

担当教員	林一美、桜井志保美、子吉知恵美				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院等の勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	在宅療養者とその家族の生活の理解、在宅での基本的な生活援助技術				
学習目的・目標	【目的】 在宅看護の対象である在宅療養者・要介護者とその家族への理解を深めるとともに、在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について講義・演習を通して修得できる。 【目標】 1.在宅ケアに関連する基本的な概念や法制度を理解する。 2.在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術を修得する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	在宅療養者とその家族の生活 ・在宅療養者とその家族の生活状況、家族による介護状況、援助者による援助の状況について理解を深める				
2	在宅療養者の生活を支える基本的な技術 ・在宅における面接技術、在宅における観察・アセスメント ・コミュニケーション、環境整備、生活リハビリテーション				
3	在宅看護にかかわる法令・制度 ・介護保険制度 ・ケアマネジメントの定義、在宅ケアシステム、ケアマネジメントの構成要素、社会資源について、ケアマネジメントの展開過程				
4	訪問看護の実際 ・訪問看護制度 ・訪問看護の展開 ・訪問看護サービスの提供				
5-8	在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術（演習） ・食と排泄 ・活動と休息 ・清潔と衣生活				
教科書	河原加代子他：系統看護学講座 在宅看護論、医学書院 鈴木和子・渡辺裕子著：家族看護学－理論と実践－、第5版、日本看護協会出版会、 国民衛生の動向、最新版、厚生統計協会				
参考図書等					
評価指標	1. 課題およびレポート25% 2. 定期試験75%				
関連科目	在宅看護学概論・家族看護論・在宅看護方法論演習・在宅看護学実習				
教員から学生へのメッセージ	在宅看護方法論は、在宅看護関連科目、既習した看護の基本や看護援助の方法を踏まえて、在宅で応用してゆく看護方法を学びます。 課題等を通し主体的に学びながら、在宅特有の看護方法の修得に努めましょう。				